

4. にぎわいと豊かさを創りだす風格のあるまち

- 産業の振興 -

恵まれた自然や伝統、歴史的な観光資源を活かし風格とにぎわい、そして豊かさを実感できるまちを目指します。また、産業間の相互連携によりバランスのとれた産業の発展を目指します。

1. 商業

活力ある商業の育成

中心市街地商業等の活性化

経営の近代化

2. 工業

産業基盤の整備

中小企業への支援

3. 農業

生産基盤の整備

農業技術への対応

経営の自立・安定

農地の有効利用

地産地消の推進

4. 林業

林業基盤の整備

林業経営の振興

森林の保全

森林文化の創造

5. 観光

都市型観光の推進

資源を活かした観光まちづくり

受入体制の整備

情報発信の強化

6. 生鮮食料品流通機構

市場運営の健全化

7. 山間地域

自然環境の保全・活用

山間地域の活用

8. 勤労者

勤労者の生活支援

雇用対策の推進

1 商業

施策の基本的考え方

商店街が取り組む創意工夫したイベント事業や街路灯などの共同施設の整備に対する支援を行い、商店街の魅力と賑わいの創出を図ります。

市民、商業者、行政、その他関係機関等が連携し、中心市街地活性化基本計画及び商工業振興指針に基づく、効果的な事業を展開し、中心市街地における商業等の活性化を図ります。

経営の近代化を図るため、融資制度の充実、共同事業の促進、診断・指導事業の充実や経営者意識の高揚を図ります。

施策・事業の体系

区分	施策	事業
商業 01	01 活力ある商業の育成	01 商業推進事業
		02 中心市街地商業等活性化事業 ^(再掲)
	02 中心市街地商業等の活性化	01 中心市街地商業等活性化事業
		02 商業推進事業 ^(再掲)
	03 経営の近代化	01 融資対策事業

*のついた用語は用語解説をご参照ください。

01 活力ある商業の育成

商業推進事業 【事業 04010101】	担当部課係名	産業部	商工課	ダイヤル	237-5694
			商工金融係		

事業概要

商店街が取り組む創意工夫したイベント事業や街路灯などの共同施設の整備に対する支援を行い、商店街の魅力と賑わいの創出を図る。

現況と課題

店主の高齢化及び後継者不足等による商店数の減少により、商店街活動の維持が困難となっている。
商店街活性化に向けた取り組みを促進する人材が不足している。
郊外への大型店の進出等の影響により、小規模小売店の閉店が増加している。

今後の事業展開

各種支援制度については、主体的かつ積極的に事業に取り組む商店街に対する重点配分に努めるとともに、老朽化した街路灯及びアーケード等の補修や、街路灯LED化の推進及びLED街路灯の電気料補助等の支援制度により、商店街の負担の軽減と環境への配慮に努めるとともに、安全安心な商店街の形成を図っていく。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値合計 (H26～28)
			平成24年度	平成25年度	平成26年度	
商店街連盟加盟商店会数	28	28	28	28	28	28
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H26～28)
	平成25年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度	
	7,854		5,734	5,562	5,562	16,858

中心市街地商業等活性化事業 【事業 04010102 04010201】再掲	担当部課係名	産業部	商工課	ダイヤル	237-5693
			商店街活性化係		

02 中心市街地商業等の活性化

中心市街地商業等活性化事業 【事業 04010201】	担当部課係名	産業部	商工課	ダイヤル	237-5693
			商店街活性化係		

事業概要

市民、商業者、行政、その他関係機関等が連携し、中心市街地活性化基本計画及び商工業振興指針に基づく事業や、まちにとって効果的な事業を展開し、中心市街地における商業等の活性化を図る。

現況と課題

中心市街地の中でも活性化が期待される重点エリアを設け、官民協働により、まちの再生を目指す事業に取り組むとともに、新たな補助制度の創設により商店街関係者だけでなく、市民の中心街活性化への取組への参画を促進したが、今後は更に効果的な情報発信等により多くの参画者の獲得やまちづくり会社の組織の充実が必要である。

今後の事業展開

各種補助制度の活用による中心市街地の再生及び賑わい創出に努めるとともに、関係機関、団体、市民等と連携、協力して中心市街地における商業等の活性化に資する事業の創出に努める。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値合計 (H26～28)
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
中心市街地における空き店舗数(件)	217	231	225	219	213	213(18)
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H26～28)
	平成25年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度	
	39,276		46,195	44,809	44,809	

商業推進事業 【事業 04010202 04010101】再掲	担当部課係名	産業部	商工課	ダイヤル	237-5694
			商工金融係		

*のついた用語は用語解説をご参照ください。

03 経営の近代化

融資対策事業 【事業 04010301】	担当部課係名	産業部	商工課	ダイヤル	237-5694
			商工金融係		

事業概要

中小企業の経営及び構造の改善並びに経営基盤の強化を促進するため、中小企業者に対し、預託金・寄託金を原資に取扱金融機関を通じ、必要な事業資金の融資を行い、本市商工業の健全な発展に資することを目的とする。

現況と課題

国においては、業況の悪化している中小企業者を対象としているセーフティネット保証第5号の要件に、東日本大震災により影響を受けた中小企業者を加えた保証制度を継続している。

そのため、セーフティネット保証などに伴う認定を速やかに行うとともに、本市の制度融資の中で低利で償還期間の長い特別経営安定資金等の融資が円滑に実行できるよう努める。

今後の事業展開

今後も、金融機関や保証協会と連携を図りつつ、小規模企業者小口資金や特別経営安定資金など市の制度融資を推進することにより、中小企業者の個々の実情に適した資金繰りの支援を行っていく。

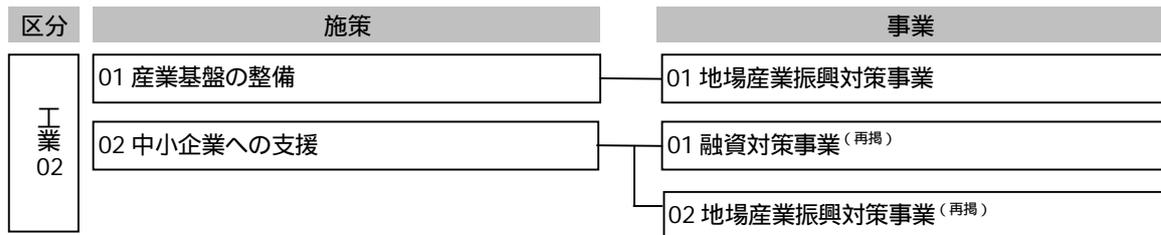
成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H26～28)
			平成24年度	平成25年度	平成26年度	
倒産にかかる 融資金額比率(%) (融資残高に対する)	1.27	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H26～28)
	平成25年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度	
	551,769		548,415	531,963	531,963	

2 工業

施策の基本的考え方

中小企業振興策として経営革新や人材育成に対する支援をするとともに、産業の活性化を図るため、既存工業団地の生産環境の維持増進及び企業誘致のための環境整備に努めます。
新規分野への進出、高度化、企業連携や異業種交流などを支援し新たな産業の創出を図るための環境整備に努めます。

施策・事業の体系



*のついた用語は用語解説をご参照ください。

01 産業基盤の整備

地場産業振興対策事業 【事業 04020101】	担当部課係名	産業部	商工課	ダイヤル	237-5695
			商工金融係		

事業概要

地域産業の発展の担い手である地場産業・伝統産業を支援し、産地基盤の確立と販路拡大並びに業界の振興及び育成を図る。

現況と課題

本市の中小企業は、経営基盤が脆弱な個人経営・生業型企業が多いため、異業種製品のマッチング*や、地域ブランド構築のための新商品開発費助成などと共に、人材育成のための支援が必要である。

今後の事業展開

各業界組合等への助成については、より効果的な支援策を検討する。

甲府商工会議所、各商工業団体等と連携する中で、販路拡大に繋がる効果的な方策を検討し、工業振興を図るための事業を積極的に推進していく。

地場製品の地域ブランド化に取り組むため、各業界団体等の異業種協業化*、及び地域資源を活用した特色ある新商品の開発を推進し、地場産業の発展と地域の活性化を図る。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値合計 (H26～28)
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
地域ブランド化に資する事業への補助件数(件)	1	1	2	2	2	6
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H26～28)
	平成25年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度	
	15,996		16,088	15,605	15,605	

02 中小企業への支援

融資対策事業 【事業 04020201 04010301】再掲	担当部課係名	産業部	商工課	ダイヤル	237-5694
			商工金融係		

地場産業振興対策事業 【事業 04020202 04020101】再掲	担当部課係名	産業部	商工課	ダイヤル	237-5695
			商工金融係		

3 農業

施策の基本的考え方

優良農地*の確保・保全を図るため、生産環境基盤の整備を行います。

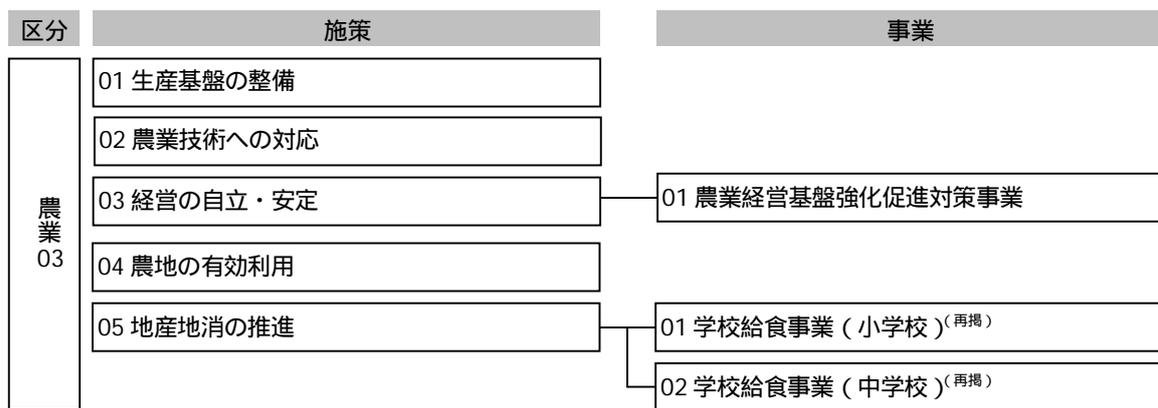
農業技術の普及指導に努めます。

農家の自立と経営の安定を図るため、農業経営改善を支援し、農業関連施設の近代化の促進や生産販売対策の拡充、他産業との連携を図ります。

農地銀行*の活用促進、遊休農地*対策の推進、中山間地域等直接支払い制度*の推進を行いながら、農地の有効利用を図ります。

地産地消*の促進を図ります。

施策・事業の体系



*のついた用語は用語解説をご参照ください。

03 経営の自立・安定

農業経営基盤強化促進対策事業 【事業 04030301】	担当部課係名	産業部	農政課	ダイヤル	298
			振興係		4834

事業概要

農業者及び関係団体をソフト・ハード両面で支援することにより、効率的で安定的な魅力のある農業経営を目指す農業者を確保・育成するとともに、これらが甲府市農業の相当部分を担うような農業構造の構築を目指す。

現況と課題

認定農業者の高齢化に伴い更新時（認定有効期限5年）に再認定を辞退する農業者が増えている。近年の社会情勢から、非農家からの新規就農や企業の農業参入などの相談が増えており農業の担い手も多様化し、指導、支援も多様な対応が求められている。

国、県の施策が認定農業者に集中する中では、さらなる認定農業者の確保が必要であり、そのためには候補者の明確化を図り、これら未認定農業者や新規就農者を認定農業者に誘導する為、関係機関と連携し指導、支援に努める必要がある。

今後の事業展開

農業経営の強化策として、認定農業者およびその候補者など担い手への耕作地集積支援をはじめ、資金の利子助成や経営相談の対応や研修会などを開催し、効率的で安定的な経営体の育成に努める。

認定農業者の育成・確保、農地の利用集積をさらに推進するため、国が創設した地域農業マスタープラン作成事業を活用し、北部山付東部果樹地域、南部平坦地域、中道上九一色地域の3つのマスタープランを作成した。今後は、青年就農給付金や経営転換協力金等の制度を活用し、担い手の体質強化を図るとともに、地域農業の振興に努める。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H26～28)
担い手による総経営面積 (㎡)	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	322.5
	292.4	322.5	322.5	322.5	322.5	
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H26～28)
	平成 25 年度		平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	
	23,204		35,492	25,235	25,235	

05 地産地消の推進

学校給食事業（小学校） 【事業 04030501 02010401】再掲	担当部課係名	教育部	学事課	ダイヤル	223-7322
			保健給食係		

学校給食事業（中学校） 【事業 04030502 02010402】再掲	担当部課係名	教育部	学事課	ダイヤル	223-7322
			保健給食係		

4 林業

施策の基本的考え方

適正な森林施業の実施により、健全な森林資源の維持増進を図るため、「甲府市森林整備計画^{*}」に基づいた、治山事業の推進、林道の整備促進を推進します。

林業経営の安定と、林業従事者の安定性を促進させるため、林業構造改善を推進し、林業の担い手の確保に努めます。

公益森林（水源かん養林）の整備促進を図り、水資源の安定確保のため、手入れの行き届かない民有林について、森づくりコミッションと連携し、「企業の森」等の誘致確保に努めます。

森林整備地域活動支援交付金を活用して、森林とふれあう環境の整備を行うとともに、民有林の適時適切な森林施業の推進を図ります。

施策・事業の体系

区分	施策	事業
林業 04	01 林業基盤の整備	
	02 林業経営の振興	01 森づくり推進事業 ^(再掲)
	03 森林の保全	01 森づくり推進事業
	04 森林文化の創造	01 森づくり推進事業 ^(再掲)

^{*}のついた用語は用語解説をご参照ください。

02 林業経営の振興

森づくり推進事業 【事業 04040201 04040301】再掲	担当部課係名	産業部	林政課 森林保全係	ダイヤル	298-4837
--------------------------------------	--------	-----	--------------	------	----------

03 森林の保全

森づくり推進事業 【事業 04040301】	担当部課係名	産業部	林政課 森林保全係	ダイヤル	298-4837
---------------------------	--------	-----	--------------	------	----------

事業概要

地球温暖化防止への取り組みが重要となる中、本市総面積の64%を占める森林の有する公益的機能の高度発揮が図られるよう、適正な森林整備を進める造林・間伐事業、更には、水源地域森林や荒廃山地の整備のための治山事業、森林整備の効率化を図る林道事業へ取組む。また、市有林や山村地域の基幹産業である林業の経済林としての位置付けの確立に取り組む。

現況と課題

木材産業の活性化や水源涵養などの森林機能を保全する森林整備推進が重要であるが、木材価格低迷などによる生産意欲の減退や、林業労働力確保などが大きな課題である。

今後の事業展開

「甲府市森林整備計画」に基づき、手入れが行き届いていない森林を対象として健全な森づくり推進を図るため、県、森林組合等と連携を図るなかで、森づくり推進事業を継続的に実施する。
甲府市有林については、森林資源の有効活用を図るなかでの森林整備と経済林としての活用推進のため、「森林経営計画」に基づいた森林整備の推進や間伐材の活用について調査検討を行い資源の有効活用を図る。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H26～28)
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
公有林整備面積 (ha)	20	20	20	20	20	20
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H26～28)
	平成25年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度	
	13,404		8,726	40,817	40,817	

04 森林文化の創造

森づくり推進事業 【事業 04040401 04040301】再掲	担当部課係名	産業部	林政課 森林保全係	ダイヤル	298-4837
--------------------------------------	--------	-----	--------------	------	----------

5 観光

施策の基本的考え方

観光客はもとより、ビジネスやコンベンション*を目的に来甲する人々が、短時間でも本市の魅力を感じることができ、次の機会にはリピーター*として訪れてもらえるような施策の展開を図ります。

多様な観光客を誘致するため、本市の豊かな地域資源を積極的に活用しながら、来甲者や観光客のニーズを的確に捉えた施策の展開を図ります。

本市の交通の利便性や立地条件を最大限活用しながら、国内外観光客の受け入れ体制の整備を図ります。また、観光客と市民との交流の主体となる担い手の育成に努めます。

本市の魅力を県内外に広く発信し、多くの人々に本市を訪れてもらうため、多種・多様・多面的な誘客宣伝活動の展開を効果的に行います。

施策・事業の体系

区分	施策	事業
観光 05	01 都市型観光の推進	01 観光開発事業
	02 資源を活かした観光まちづくり	01 まつり推進事業
	03 受入体制の整備	01 観光開発事業(再掲)
	04 情報発信の強化	01 観光開発事業(再掲)

*のついた用語は用語解説をご参照ください。

01 都市型観光の推進

観光開発事業 【事業 04050101】	担当部課係名	産業部	観光課	ダイヤル	237-5702
			観光係		

事業概要

平成 27 年度を始期とする新たな観光振興計画を策定する。

「甲府市観光客誘致対策補助金交付制度」の周知を積極的に行い、滞在型観光客の増加を図る。

パンフレットの作成、やまなし観光推進機構等と連携したキャンペーン、雑誌や新聞等メディア、さらには、インターネットの効果的な活用等、様々な PR 手法を戦略的に実施することにより、本市の観光情報を広く県内外へ発信し、誘客の促進を図る。

甲府駅北口クリスタルアース内に宝飾と葡萄を題材としたモニュメント及び宝石ディスプレイを展示し、来訪者に地場産業の歴史や魅力を紹介する。

本市の奥深い歴史を体感してもらうため、さまざまな歴史的な背景を切り口に魅力あるモデルコースを企画し、こだわりのあるオブショナルツアーを実施する。

本市の魅力ある地域資源を最大限に活かしながら、新たな観光 PR を戦略的に行っていく。

現況と課題

本市特有の歴史や地域資源を活用した着地型観光の提案など、本市を訪れた観光客にリピーターとなってもらえるよう、広域連携による広報活動を積極的に行うとともに、観光関係団体等と連携した事業を展開することにより、滞在型観光客の増加を図ることが必要である。

個人観光客誘致活動に加え、本市の立地特性等を活かしつつ、企業向け戦略的 PR 活動についても、積極的に検討していく必要がある。

今後の事業展開

近年、社会情勢の変化や価値観の多様化により、旅行形態も「見る観光」から「芸術や文化を楽しむ、街並みや文化遺産、地場産業に触れる」、あるいは「地元の人と交流する」など、多種多様となっている。このため、これまでの甲府市観光振興基本計画を踏まえつつ、新たな計画については、各種関係団体等とのさらなる連携を図る中で、活力と魅力ある滞在型の観光地づくりと、新たな観光政策の構築に努める。

昇仙峡や盆地の夜景など本市の豊かな自然や景観、武田信玄に代表される歴史を最大限に活用しながら、歴史資源の再評価を行う中で、観光客が感動できる観光地づくりを行う。

新たな交流人口獲得に向け、これまでとは違った視点からの地域資源発掘や、PR 活動に努めていく。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値合計 (H26～28)
			平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	
年間延べ宿泊者数 (千人)	平成 24 年度 616	平成 25 年度 629	632	632	632	1,896
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H26～28)
	平成 25 年度		平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	
	14,252		13,575	13,363	13,363	

02 資源を活かした観光まちづくり

まつり推進事業 【事業 04050201】	担当部課係名	産業部	観光課	ダイヤル	237-5702
			観光係		

事業概要

「信玄公祭り」や「甲府大好きまつり」を通じ市民のふるさと意識を醸成し、参加者の自発的意識のもと、市民連帯感の高揚を図る。さらに、「信玄公祭り」においては、県内外の観光客に親しまれる祭りとして実施し、交流人口の増加を目指していく。

現況と課題

信玄公祭りについては、甲州軍団出陣当日の荒天の影響から、対前年度比マイナス 29,000 人の 109,000 人であった。

- 甲府大好きまつりにおいては、平成 20 年度より協賛金を募集し運営してきており、収入は前年度実績を下回ったもののほぼ例年並みの協賛金収入であった。また、まつりの内容についても、新たな試みを随所に織り交ぜながら実施したが、他のイベントとの競合や、午前中の荒天候が影響し、約 23,000 人（対前年度 15,000 人減）の来街者であった。

今後の事業展開

第 43 回（平成 26 年度）信玄公祭りは、昨年度の反省点を改善する形で、総合プロデューサーを招致する中で、さらなる創意工夫を凝らした魅力的な祭りとしていく。また、民間の活力を活用しながら、観光客の滞在時間延長や消費額の上昇、さらには新しいマーケット（ターゲット）の開発に努めていく。

- 「甲府大好きまつり」については、今年度以上に民間との連携を重視する中で、事業内容の見直しや、さらなる新たな試みを実施するとともに、まつり本来のあり方についても検討していく。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値合計 (H26～28)
			平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	
信玄公祭りの人出 (人)	138,000	109,000	125,000	125,000	125,000	375,000
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H26～28)
	平成 25 年度		平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	
	19,500		19,300	18,721	18,721	

03 受入体制の整備

観光開発事業 【事業 04050301 04050101】再掲	担当部課係名	産業部	観光課	ダイヤル	237-5702
			観光係		

04 情報発信の強化

観光開発事業 【事業 04050401 04050101】再掲	担当部課係名	産業部	観光課	ダイヤル	237-5702
			観光係		

*のついた用語は用語解説をご参照ください。

6 生鮮食料品流通機構

施策の基本的考え方

市場運営に関しては、指定管理者制度の導入により効率的で効果的な運営を行うとともに、様々な環境の変化に対応するため市場機能の強化を図り、生産者及び消費者の期待に応えられる安全・安心な食品流通システムの構築に努めます。

施策・事業の体系

区分	施策	事業
生鮮食料品流通機構 06	01 市場運営の健全化	

7 山間地域

施策の基本的考え方

環境保全と開発の調和を基本とした森林の利活用を行いながら、農林業と観光産業の共存できる地域づくりに努めます。

山間地域の活用を図りながら、山村の振興に努めます。

施策・事業の体系

区分	施策	事業
山間地域 07	01 自然環境の保全・活用	
	02 山間地域の活用	

8 勤労者

施策の基本的考え方

勤労者の生活の安定及び住環境の整備を図るため、生活資金や住宅資金の融資事業を推進します。山梨労働局、ハローワーク甲府などの関係機関との連携を図りながら、就労支援を行います。また、退職後の高齢者の社会参加の援助と生きがい対策として、公益社団法人甲府市シルバー人材センターへの支援を行います。

施策・事業の体系

区分	施策	事業
勤 労 者 08	01 勤労者の生活支援	01 勤労者融資対策事業
	02 雇用対策の推進	01 雇用促進対策事業

01 勤労者の生活支援

勤労者融資対策事業 【事業 04080101】	担当部課係名	産業部	労政課	ダイヤル	237-5736
			労政係		

事業概要

勤労者に住宅の新築、増改築及び購入に必要な資金や、医療、教育、その他資金の融資を行うことにより、勤労者の福祉の向上と生活の安定並びに、住環境の整備と定着人口の確保を図る。平成 22 年度から、勤労者住宅資金融資事業の対象者を中小企業勤労者とした。

現況と課題

勤労者住宅資金融資事業の利用促進。

今後の事業展開

融資事業の利用促進を図る中で、より利用しやすい制度となるよう、貸付利率や貸付限度額等の内容を適宜見直していく。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H26～28)
	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	
融資枠(予算)に対する 融資実行率(%)	19	3	100	100	100	100
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H26～28)
	平成 25 年度		平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	
	647,827		553,515	521,229	505,547	

*のついた用語は用語解説をご参照ください。

02 雇用対策の推進

雇用促進対策事業 【事業 04080201】	担当部課係名	産業部	労政課	ダイヤル	237- 5736
			労政係		

事業概要

勤労者の労働問題等に対する支援。
 高齢者の生きがいや社会への積極的参加を推進していくため、公益社団法人甲府市シルバー人材センターの運営管理を支援。
 若年者の職業感の醸成。
 求職者に対する就労支援。

現況と課題

景気の悪化やデフレを背景にした、求人倍率の低迷や非正規雇用労働者の増加、労働条件の悪化、高校・大学新卒者の就職率の悪化等、厳しい雇用情勢。

今後の事業展開

甲府商科専門学校と連携した甲府市インターンシップ*事業の対象事業所を見直し。
 山梨労働局、甲府公共職業安定所との連携により市役所内において本市の行う生活支援と甲府公共職業安定所の行う就労支援を一体的に実施する。
 高校生などを対象とした若年者就業支援事業（キャリア教育講演会）の実施。
 公益社団法人甲府市シルバー人材センターについては、センターの自立に向けた事業展開の強化を促すとともに、広報活動の支援をしていく。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H26～28)
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
インターンシップ参加学生数 (人)	48	54	50	50	50	50
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H26～28)
	平成25年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度	
	15,756		17,822	17,284	17,284	